



蒜山高等学校新聞

# 蒜高タイムズ

第74号

毎月25日発行

H22. 4. 26

蒜山高校 教務課

Tel:66-2016

hiruzen07@pref.okayama.jp

## 新任式・始業式 (四月八日)

平成二十二年度は新たに四名の先生方をお迎えしました。新任式・始業式では、猪木校長先生が、「二年の計は元日にあり」という言葉がありますが、学校では今日がその日になります。しっかりと目標を持って、頑張っていきましょう。三年生はいよいよ進路決定の年です。社会に羽ばたいていこうとする正念場の年です。初志を貫く努力を惜しまないでください。二年生は名実ともに中樞をなす年です。生徒会活動、ボランティア活動なども積極的に、蒜山高校に新たな一ページ書き加えてください。そこで皆さんに二つお願いがあります。一つ目は、皆さん一人ひとりかけがえのない存在。自分の存在を意識してください。しかしながら、皆さんの限らない可能性は何の努力もなしに実りあるものにはなりません。原石である皆さんには、努力を惜しまず、自分に磨きをかけて輝きを放って欲しいと思います。二つ目は、『明るく、活き活き、爽やかに』です。何をやるにも全力で、互いに励まし合いながら、嬉しいときにはガッツポーズ、悲しいときには人目をはばからず泣いてしまおう。そんな高校生らしい高校生になって欲しいと思います。私たちも蒜山高校に一日も早く慣れ、蒜山高校の歴史の中に、皆さんと共に色んなドラマを作っていきたいと思えます。」と締めくくられました。

## 入学式 (四月九日)

新入生三十五名を新たに迎え、全校生徒八十名の蒜山高校がスタートしました。校長先生は式辞の中で、「入学おめでとう」といいます。皆さんが今日あるのは、それぞれの努力の賜物であることは言うまでもありませんが、これまで皆さんの成長を支えてこられたご家族や、小中学校の先生方、そして地域の方々の存在も決して忘れることなく、感謝の気持ちを持ってこれからの学校生活を送って欲しいと思います。みなさんには第一に、基本的な生活習慣の確立。第二にコミュニケーション能力の向上。第三に、心身共に健康であるように自己管理をすること。第四に、明るく活き活きさわやかに行動すること。この四つを心に深く刻み、これからの生活の指針にして欲しいと思います。」とおっしゃいました。在校生代表、生徒会長の新谷雄紀君は、「二クラスあたりの人数が少ないからこそ、密度の高い授業を受けることができました。自主性が育つたりと、少ない人数ならではの良さが蒜山高校にはあります。この蒜山高校での三年間が皆さんの今後の人生にとって大きな糧となることを心より願っています。」と歓迎の言葉を述べました。入学の言葉では、新入生代表池田幸平君が、「蒜山高校の一員として迎えていただきたいことを大変嬉しく思い、希望に燃えています。蒜山高校の名に恥じないように、伝統を守り、勉強に部活にと精一杯頑張つて、悔いのない高校生活を送りたいと思います。」と力強く挨拶しました。



## 新任発表

猪木 晴二(いのき せいじ) 校長先生  
この度の異動で、赴任しました。私は生まれも育ちも岡山県です。蒜山の地は、これまで観光で何回か訪れたことがありますが、住むのは初めてです。まだまだ地域のことは何も知りませんが、耳よりの情報があれば是非教えてください。

生徒の皆さんには、金銭等につきましては、明るく活き活きとややかに、モットーに「一度と、高校生活を好む薬」しんぐくを希望します。そして、卒業時に蒜山高校に来てよかったと、心から言葉をよんで欲しいものです。皆さん、よろしくお願ひします。

中島裕子(なかしま ゆうこ) 先生  
教科：英語・一年B組担任  
フレッシュな気持ちで頑張りたいと思いますので、よろしくお願ひします。

柚木 涉太(ゆもと しょうた) 先生  
教科：地歴・公民  
いたらない点もあると思いますが、精一杯やっていききたいと思います。

よろしくお願ひします。

竹内 聡(たけうち そう) 主事  
事務室  
蒜山高校に早く慣れるよう頑張ります。よろしくお願ひします。

## 部活動オリエンテーション (四月九日)

入学式終了後の午後から部活動オリエンテーションを行いました。ぎこちなさを感じられる紹介の中にも、二・三年生の部活動に掛ける熱い思いがこもった紹介が各部からありました。一年生も真剣な眼差しで話を聞いていました。



## 転任式 (四月十五日)

「ただ漠然と過ぎます、トコトン頑張つて」「何事にも強い思いを持って取り組んで」「感謝の気持ちを忘れないで」「高校時代に何かに挑戦して、笑顔で活き活き学校生活を送つて」など、お世話になった先生方からの思いの伝わるメッセージに、別れを惜しみながらも真剣に聞いている生徒の眼差しに、今年も活気溢れる年になりそうな予感がしました。今後、生徒たちが今の思いを忘れることなく、活発に勉強に部活に取り組むことで、転任される先生方の思いに応えてくれることと思います。

## 白川英樹先生講演会 (四月十九日)

ノーベル化学賞受賞者の白川英樹先生が蒜山中学校にいられて、「自然に学ばせろ」というテーマで講演してくださいました。内容は白川先生の幼少期のお話や、好奇心を持ち、探求し続けることの大切さなど、高校生にとっても非常に役立つ内容だったように思います。講演を終えて、私たちは「日常生活の全てにおいて誰しもに言える、失敗からでも学ぼうとするポジティブシンキング」を教えてもらったような気がします。

## 奨学金のお知らせ

岡山県育英会から高校在学中の奨学金貸与(月額一万八千円)の募集がきております。学校内へは五月十日です。日本学生支援機構から3年生に対して、進学後の奨学金貸与(月額三万円)の募集がきております。学校内へは六月十五日です。奨学金を希望される方は担当(稲岡)までご連絡ください。



## 対面式 (四月十二日)

在校生代表、新谷雄紀君の挨拶の後、新入生代表、長瀬蘭子さんがお礼の言葉を述べました。その後、各グループに分かれて、二・三年生が新入生を連れて校内各所を回り説明をしました。職員室入室時の注意点や、図書室の利用方法など、丁寧に説明する二・三年生さすがに慣れた様子で頼もしく見えました。一年生も先輩たちの説明を、一日も早く高校生活に慣れようとする懸命な様子が見られました。

## 宿泊研修 一年生 (四月二十一日～二十三日)

新入生たちは、イニシアティブゲーム、野外炊飯などで、仲間作りをしました。この研修で学んだことを、今以後の高校生活にも生かして欲しいことと思います。



## 平成22年度

### 本校の具体的な学校経営目標

- ①規律ある生活習慣の確立
- ②基礎学力の充実と進路保障  
(3年間を見通した、読力・書く力・話す力の育成)
- ③人権教育の推進
- ④自ら学ぶ意欲の育成
- ⑤特別活動の活性化
- ⑥中高一貫教育の推進
- ⑦広域活動の一層の推進
- ⑧安全美化と心と体の健康管理  
の徹底(基礎体力の向上)
- ⑨変化に柔軟に対応できる仕組み作り

## 4・5月の予定

- 4月30日(金) 生徒総会
- 5月7日(金) 美術総体結団式
- 8日(土)・9日(日) 美術総体
- 10日(月) 美術総体取組式
- 24日(月)～27日(木) 1学期中間考査
- 31日(月)いっばい運動
- 31日(月)～公開授業週間